

富士山静岡空港特定運営事業等審査講評の概要

(空港政策課)

1 総評

第二次審査においては、空港活性化に関する提案の具体性や実現性が評価され、かつ運営権対価等が相対的に高かった応募者がより高い評価を得る結果となった。

本事業を通じて、空港及び空港周辺地域の活性化が図られ、本県経済の発展につながっていくことを大いに期待する。

2 第二次審査における採点結果

提案項目	配点	応募者 1	応募者 2
1 応募者の考える新しい富士山静岡空港	5	4.0	3.8
2 空港活性化に関する提案	80	61.5	57.6
3 空港運営に関する提案	40	31.1	33.8
4 事業計画等に関する提案	35	25.5	26.4
5 運営権対価等に関する提案	40	40.0	25.1
合 計	200	162.1	146.7

3 第二次審査における審査の内容

(1) 旅客数の増加に関する目標・施策

- ・旅客数の目標値は、明確な根拠を基にした高い目標値の提案を高く評価した。
- ・施策は、積極的かつ具体的で、目標値の達成に向けたプロセスが明確である提案を高く評価した。

(2) 空港利用者の利便性向上に関する目標・施策

- ・空港利用者の利便性の目標水準は、明確な根拠に基づく高い目標水準の提案を高く評価した。

(3) 地域連携事業に関する施策

- ・地域との連携を重視した具体性のある提案を高く評価した。
- ・空港周辺地域の企業、関係団体、地方公共団体等との連携方法や取り組む施策に具体性のある提案については、より高く評価した。

(4) 任意事業に関する施策

- ・いずれの提案も、民間の創意工夫を生かした具体性のある提案であり、施策の多様性や実現性に応じて評価した。

(5) 安全・安心の確保に関する計画

- ・いずれの提案も、経営トップ主導の体制整備であるが、その他の施策については、提案ごとに特徴が見られ、具体性に応じて評価した。

4 審査委員会の意見

優先交渉権者には、富士山静岡空港の活性化や円滑な運営等に向けた積極的な取組と提案内容の着実な実行とともに、不断の改善を期待し意見を付す。

- ・第二次審査書類に記載された施策について、民間の創意工夫を発揮して、本空港のポテンシャルを最大限に生かし、収支の安定を図りつつ、確実に実施すること。
- ・更新・修繕に係る更新投資の実施に当たっては、県負担額の軽減を図る観点から、積極的に効率化や適正化等を検討すること。 等